



答えて市長！

一般質問

一般質問は12月14日、15日、16日の3日間にわたって行われ、11人の議員が活発な論戦を展開しました。質問・答弁ともに質問者が要約していますが、詳細な内容は会議録をご覧ください。会議録はホームページや市立図書館等で閲覧できます。なお、最新の会議録の提供までには3カ月程度かかります。

放射能除染対策について現状は

中嶋 通治

問 中井沼公園、第一調整池、アクアパークについて計測は行われたのか。

答政策室長 10月17日より、学校、公園、保育所を中心に計測し、10月21日に中井沼、11月15日にアクアパーク、11月16日に第一調整池の測定を行なった。第一調整池については、放射線量の高い地点について緊急除染を実施した。
問 除染の目安として側溝の上、縦樋の下等、数値が高い場所等計測する予定は。
答政策室長 重点的に計測を行なっています。

問 住宅地の除染計画について、基準値を越し、個人で除染した場合に保管場所はどの様にするのか。

答政策室長 各自の敷地に埋設することをお願いしています。

問 通学路等広範囲に亘る除染について市民と協働しての計画は有るのでしょうか。

答政策室長 今後自治会長等にお願する機会を持ち

ます。

◆放射能に汚染された土砂の不法投棄について

問 国民の安全安心を守るべき立場にある環境省の職員が常磐道傍の市道に汚染された土砂を不法投棄したとの報道があるが、現状はどの様になっているのか。

答市長 11月13日に投棄され、17日に環境省職員によって回収され、翌18日に投棄場所を測定したが、周辺の線量と同程度である。環境省には遺憾の意を伝えた。

防犯灯照度アップ事業の展開で安全・安心のまちづくりを

互 金次郎

問 「夜間のいちよう通りの歩道は暗く危険だ」との声をいただきました。LED照明など従来型の防犯灯と比較し、省電力・長寿命・照度アップと費用対効果の高い防犯灯も普及し防犯灯照度アップ事業を展開する自治体もあります。照度の測定調査を実施し、暗く危険な箇所では高照度のものとの交換、照

度確保の妨げとなる樹木の剪定をする等、「防犯灯照度アップ事業」を展開し安全・安心のまちづくりを。

答市長 来年度より新設の防犯灯にはLEDを導入し、照度等の調査結果に応じた対策を実施し安全確保に努めます。

◆読み書きサービスで視覚障がい者や高齢者支援を

問 目が不自由な方や高齢の方から「書類の字が小さくて読めない」「内容が良く理解できない」「字を書くのが苦手だ」等の声があります。「読み書きサービス事業」の導入を検討すべきでは。

答市長 既存のサービスも含め効果的な情報支援のあり方を総合的に研究します。

◆緊急災害時の情報提供にエリアメールの導入を

答市長 事前登録せずに情報が得られる利点があり、実施に向け検討します。

